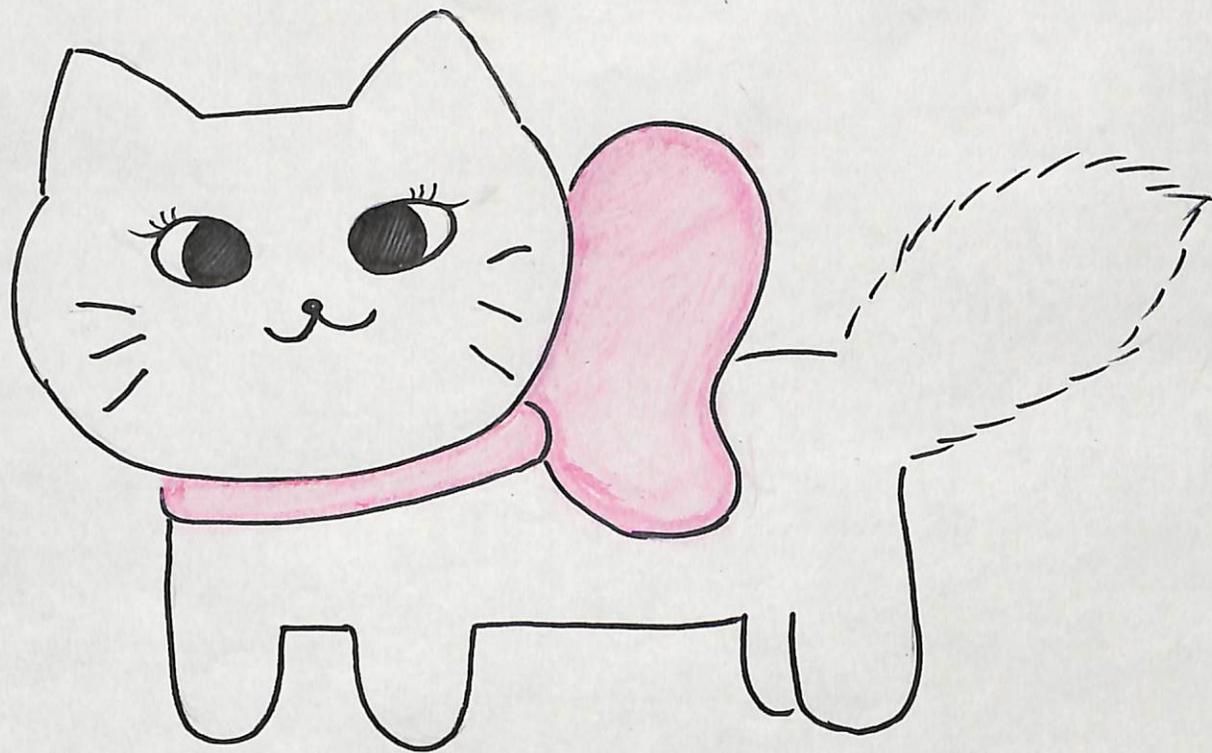
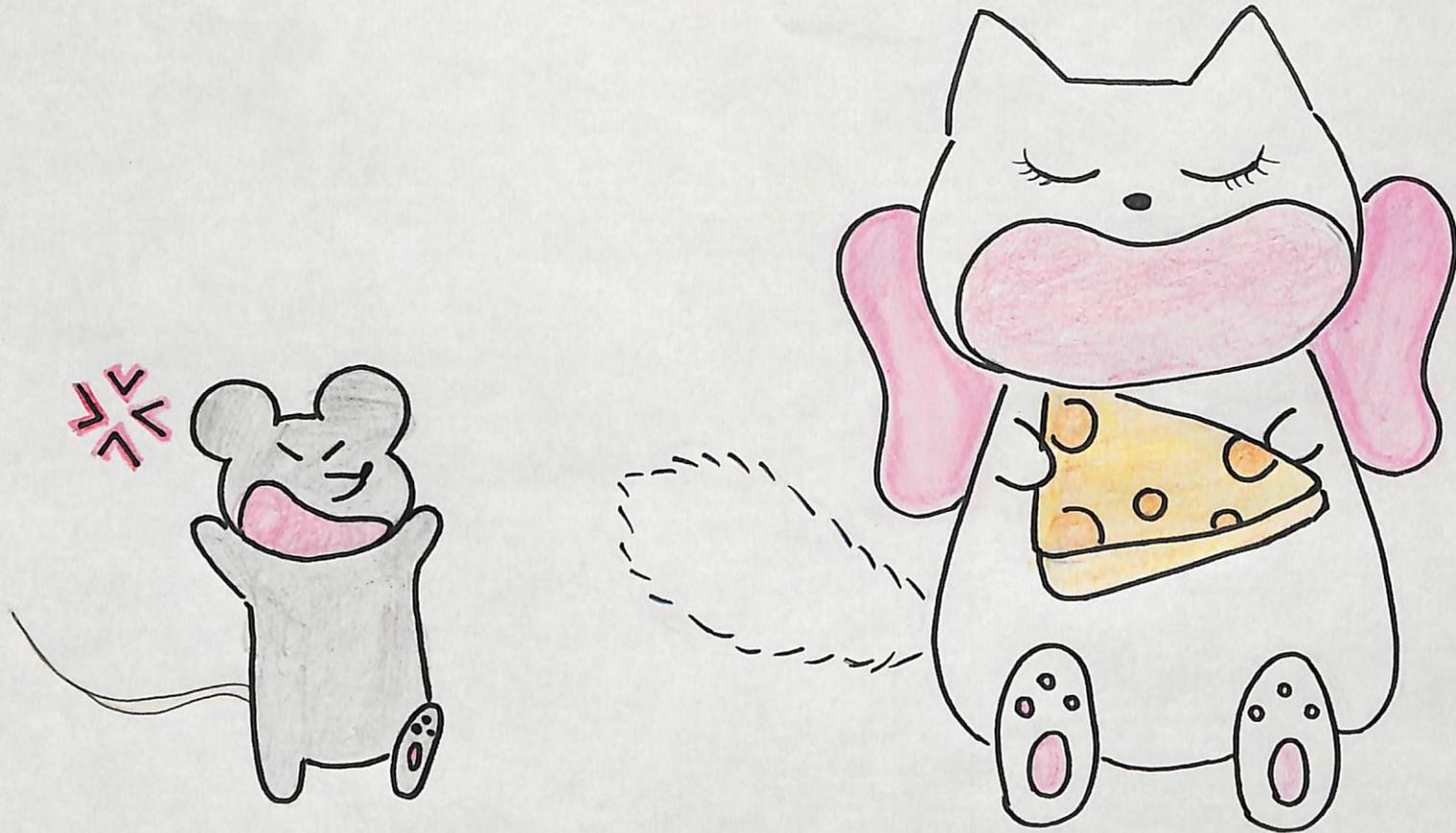


「いたずら子猫のミーちゃん」
132H023



大きなリボンをつけた フサフサ しっぽが自慢の ^{じまん}いたずら子猫 ^{こねこ}ミーちゃん。

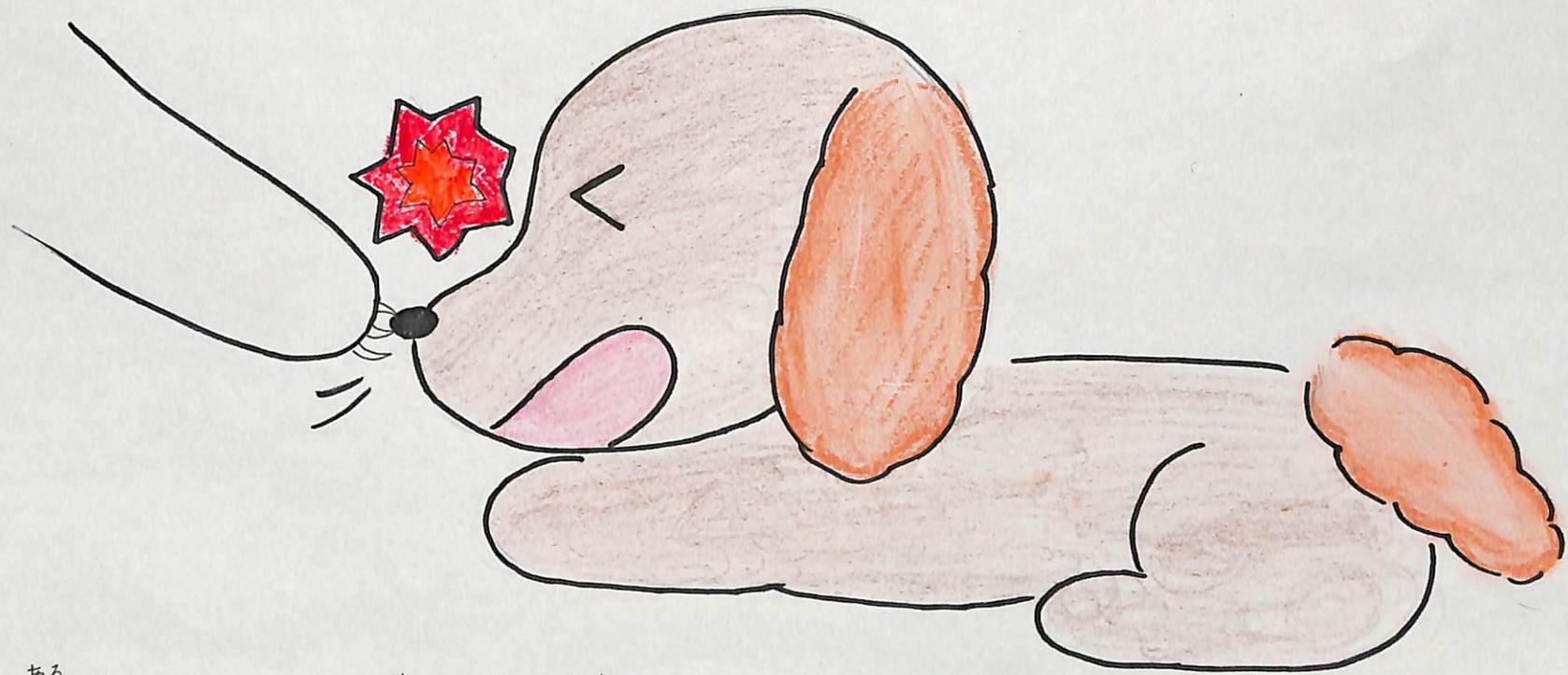
「^{なに}何か面白いことは ^{おもひ}ないかしら？」



ある
歩いていると、ねずみさんが ^{おい}美味しそうなチーズを ^た食べていたので

「それ わたしにちょうだい」と うばってしまいました。ねずみさんはカニカン！

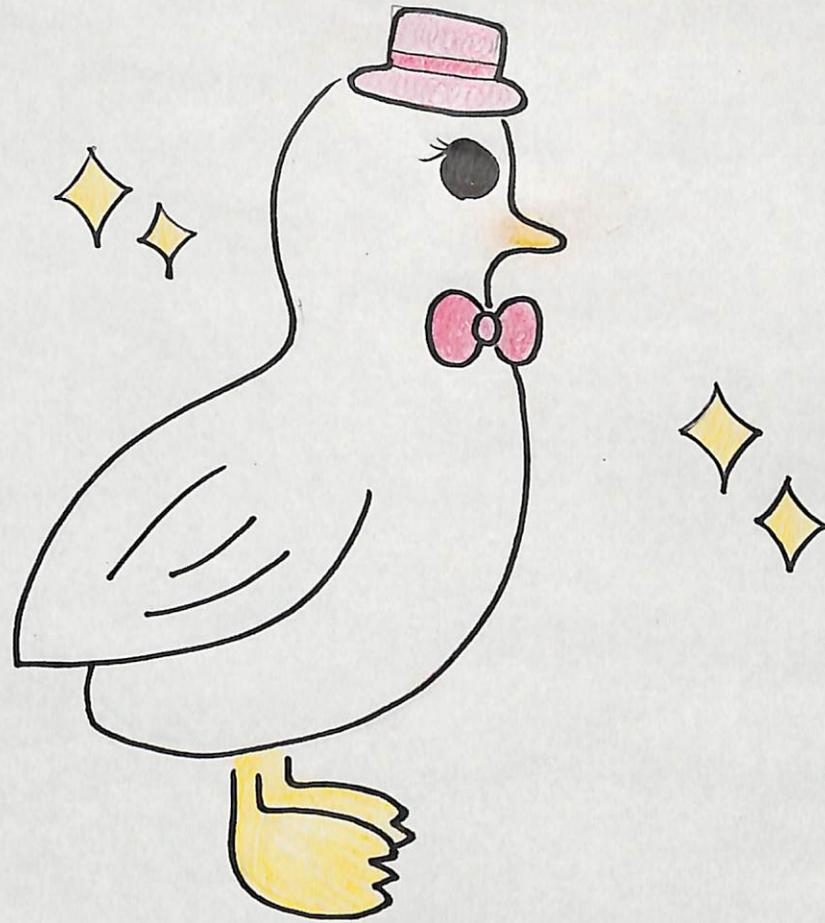
でもミーちゃんは ^し知らんぷり。



また ^{ある}歩いていると ^{こいぬ}子犬が ^{ひるね}お昼寝をしていたので ^{はな}鼻をひっかいて

「そこは ^{わたし}私の ^{とお}通 ^{みち}り道よ！」

子犬は ^な泣きだしましたが、ミーちゃん ^しは知らんぷり。



アヒルの^{おく}奥さんは おしゃれ^ず好き。今日も お^き気^いに入りの^{ぼうし}帽子をかぶって^{さんぽ}散歩をしていました。

ミーちゃんは「変^へな^{ぼうし}帽子をかぶってアヒルの^{おく}奥さん変^へなのー！」とからがいました。

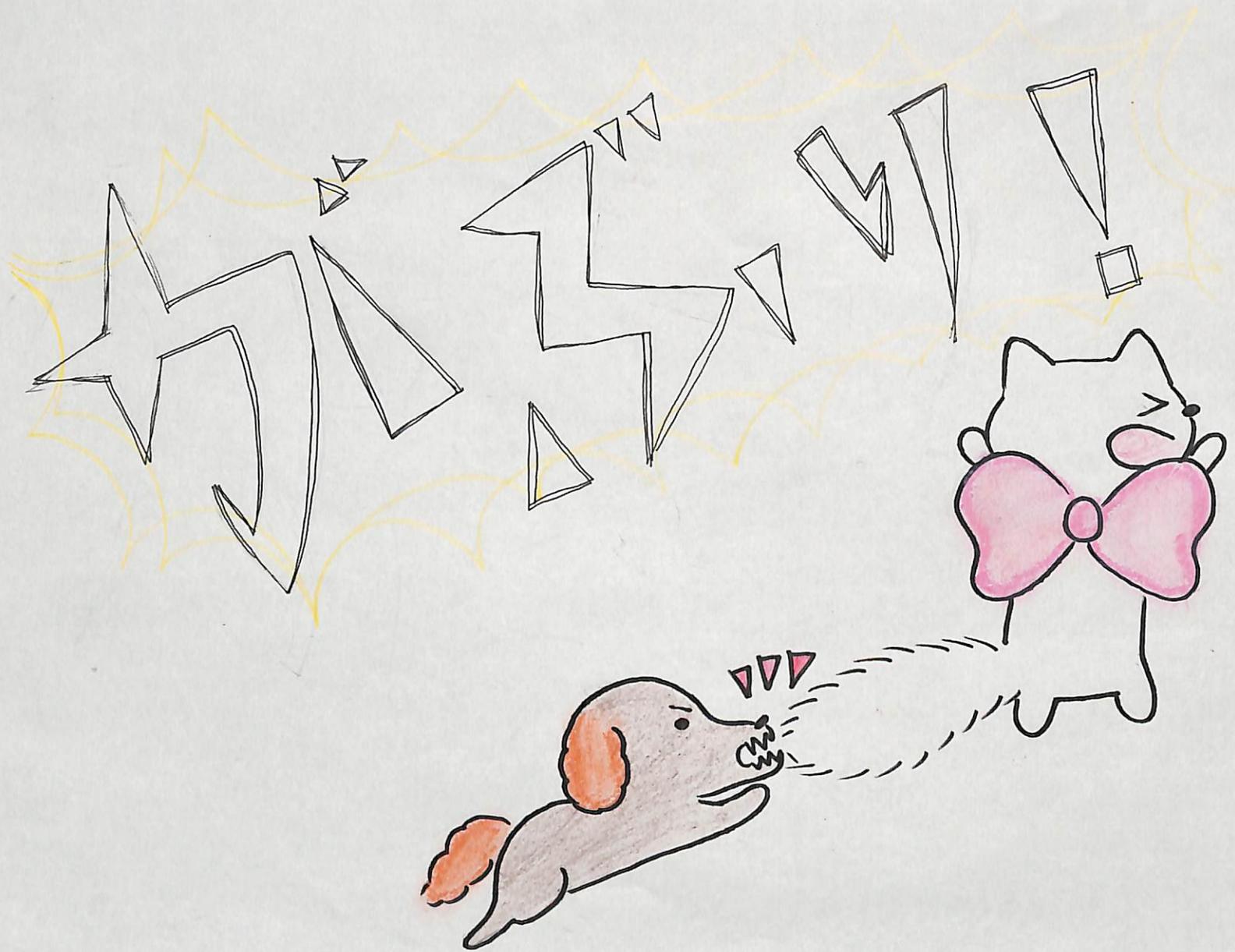
アヒルの^{おく}奥さんは真^ま赤^かになって怒^{おこ}っていましたがミーちゃんは矢^し口^{くち}ら^んぶ^り。



そろそろ おなかが空いたミーちゃんが お家に帰ると お皿がありません！

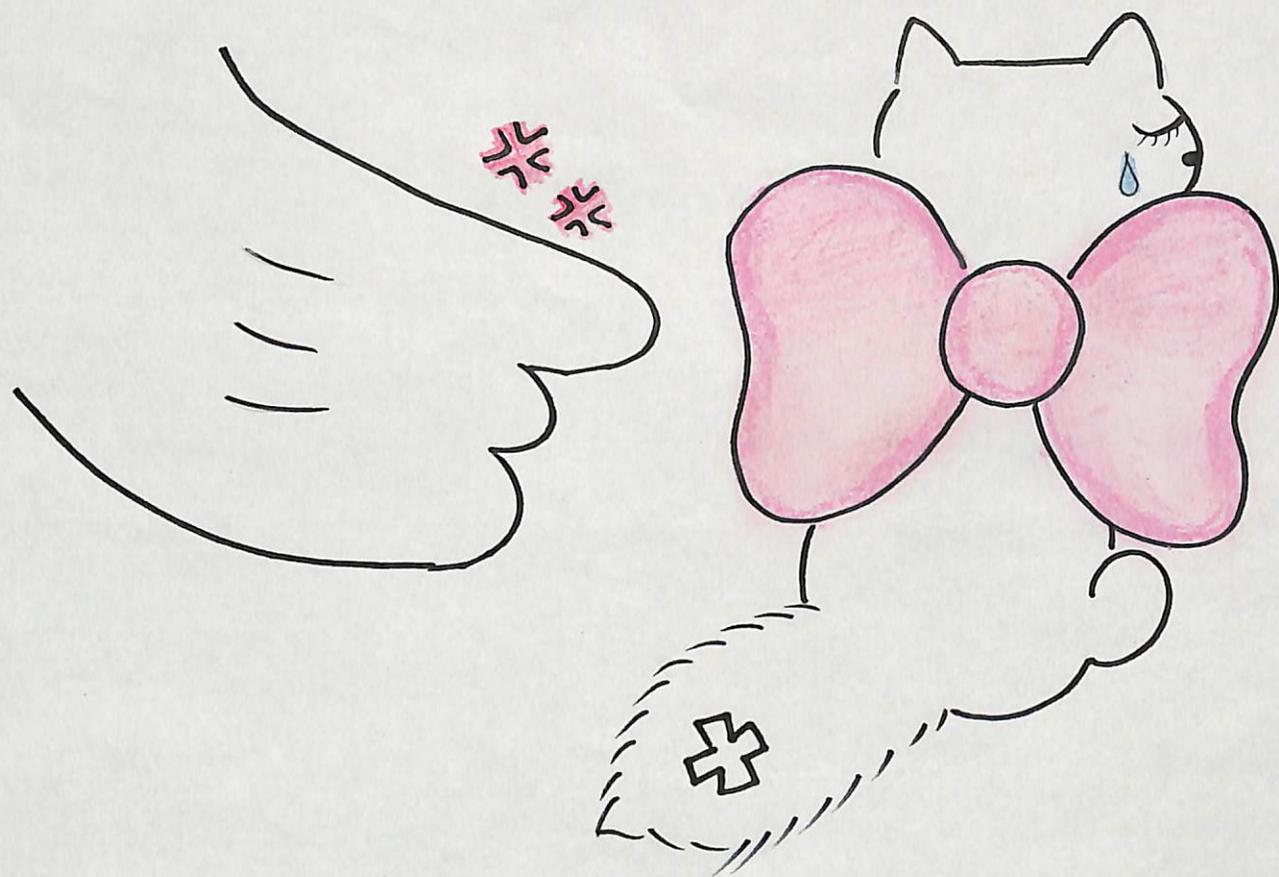
ねずみさんがミーちゃんのごはんを持ってしまったのです！

ミーちゃんが怒っていると後ろから...



と、ミーちゃんの自慢じまんのフサフサレッぽこいぬを多犬はしがかんで走はしって行ってしまいました。

ミーちゃんいたは痛いたくて泣なきだしてしまいました。



するとそこへアヒルの^{おく}奥さんがやってきて、

「ミーちゃんのその^{おお}大きなリボンとっても^ん変ね！」と言って^い去^こっていきました。

ミーちゃんはとても^{かな}悲しくなりました。



ミーちゃんは自分^{じぶん}がしたいたずら^{いたずら}を反省^{はんせい}して みんなに「ごめん^{ごめん}なさい」を
言^いいに行^いきました。
あした 明日^{あした}からは みんなと仲良^{なごよ}く遊^{あそ}ぼうね ミーちゃん。